

経営比較分析表（令和4年度決算）

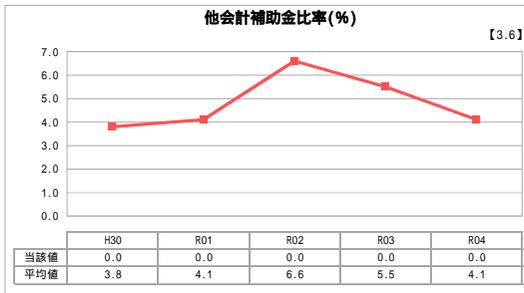
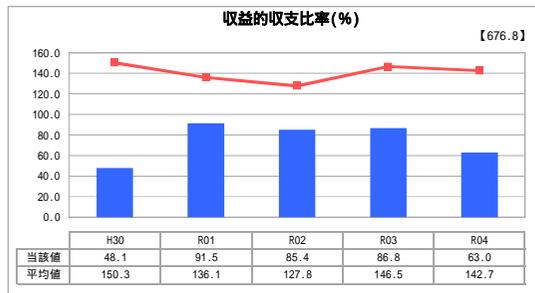
兵庫県神戸市 細田駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	27	

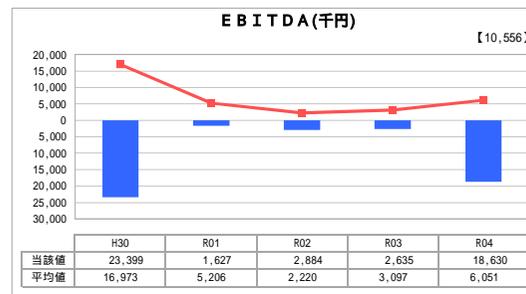
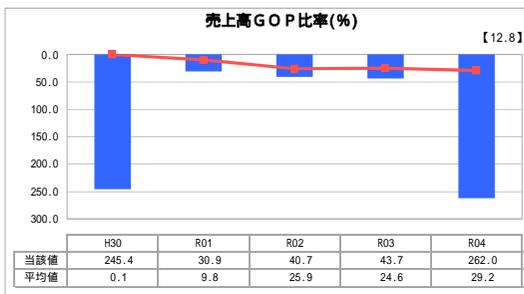
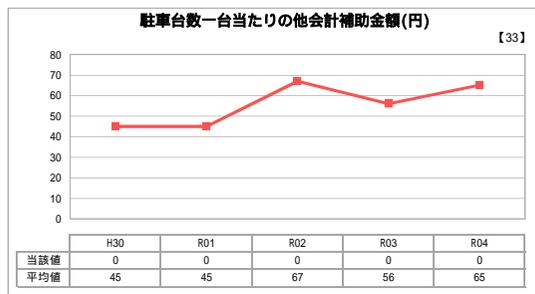
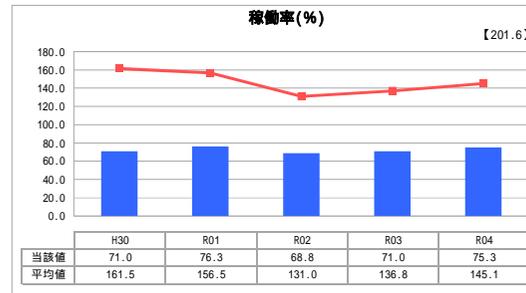
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	4,444
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
93	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
● 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

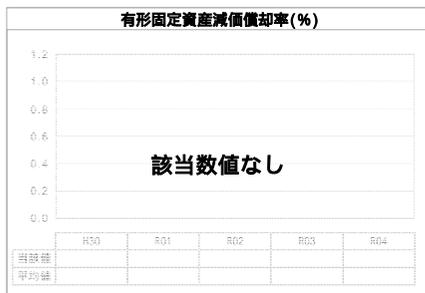
1. 収益等の状況



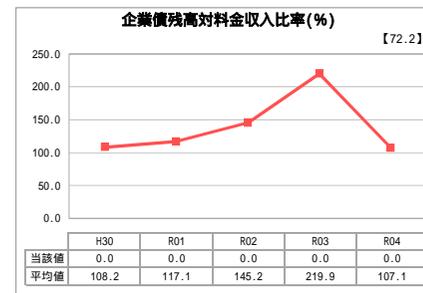
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)	0
設備投資見込額(千円)	142,408



分析欄

1. 収益等の状況について
収益的収支比率は前年度より減少し、赤字である。

、の他会計補助金は平成28年度より0である。売上高GOP比率、EBITDAは直近5年間類似施設の平均値を下回っており、R4年度は大幅に減少した。合築されている図書館等の他、近隣の集客施設が少なく大幅な需要増加は厳しいため、コスト削減等により収益構造の改善に努めていく。

2. 資産等の状況について

設備投資見込額は平均的であり、引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0である。

3. 利用の状況について

稼働率は前年度より微増したが、平均値を大きく下回る。

全体総括

新長田駐車場から巡回管理することによりコスト削減に取り組んでいるが、周辺の駐車需要の増加が見込めないことから、収益の改善は見込めない。今後、新長田駐車場と共に細田駐車場、新長田駅前駐車場の管理手法のあり方を検討していく。